

挑戦!! 躍動する宇部市を!

未来を拓く!

「北浦の燈火を消すな!」との言葉の紡ぎは、山口県北浦から生まれ人口減・過疎・衰退に抗い、躍動・活力を求める願望であり魂の発露でした。そして、この叫びは元内閣官房長官・前衆議院議員河村建夫さんによって確かな政治的主張として取敢され、その観念は鮮烈な輝きを放つに至りました。先達によって磨かれたこの「燈火を消すな」との政治思想は、広く県内を含む地方社会に共通する難問に光をあて、究極的には大都市偏重の統治機構を改革する以外にはないこと炙(あぶ)りだしました。しかし、熾烈を極めた闘いは、政治生命の断絶という予想だにできなかった痛恨事を生み出しましたが、他方では、依然として「人口減・過疎・衰退からの脱却」が私たちに突き付けられた共通の課題として今なお現存しています。私は、過疎衰退と闘う河村思想を継承し、過疎衰退の社会構造を改革するため昨年の補欠選挙に引き続いて今度県議本選挙に立候補致しました。左右・保守を越えた草の根中道政治活動家として、日本の新しい政治を探究しつつ、更に、県政の発展と刷新に全力を注ぎます。皆さんの熱いご支援を心からお願い申し上げます。

- 総合大学としての宇部市立大学を創設し、躍動する宇部を創る
- 道の駅を創設し、過疎対策の起爆剤に!
- 県立宇部西校の廃止に反対し、存続を求める
- 学校給食を中学校まで完全無償化
- 原発ゼロ・自然エネルギーへの転換のための県独自の融資制度の新設
- 宇部新川駅周辺を宇部市の玄関口として活性化させる

佐々木信夫(ささきたただお)プロフィール

1938年(昭和13年)8月14日生まれ
職業軍人であった伯父・實がノモンハンに出征し戦死。この為、母・アイ子は嫁ぎ先を離れし家督相続。直後に生まれた私は、戸籍上、父親のいない非嫡出子(私生児)扱いになった。実父も南方で戦死。

■略歴
昭和26年3月 阿武郡篠生村立三谷小学校卒業
昭和29年3月 阿武郡地福村立地福中学校卒業
昭和34年3月 島根県立津和野高等学校卒業(在学中生徒会長)
昭和50年3月 立正大学経済学部経済学科卒業(36歳)
昭和52年3月 駒澤大学大学院法学研究科修士課程修了(38歳)
昭和56年3月 千葉商科大学大学院商学研究科修士課程修了(42歳)
昭和60年3月 早稲田大学大学院法学研究科博士課程修了(46歳)

■主な政治歴
①衆・参議院議員選挙8回出馬、山口市長選挙立候補
②令和4年2月 県議選宇部選挙区補欠選挙に立候補
③自由連合(元)山口県代表、元税理士

■現職 次世代の為の自由福祉党代表 社会福祉法人 出雲王朝理事長



次世代の為の
自由福祉党 公認
中道政治連合 新風推薦

ささきたただお

未来の歴史 ともに創る!

- 未来に向けたまちづくり**
 - 地域防災力の向上による安心・安全なまちづくり
 - 誰もが安心して暮らせる共生社会
 - 将来を見据えたインフラ整備
- 未来を見据えた産業振興**
 - 次世代型産業の育成・雇用促進
 - 地元産業の成長支援と強化
 - 農林水産物のブランド化・販路
- 未来を担う世代の育成**
 - ジェンダー平等・多様性の推進
 - 若者や女性が安心して活躍できる環境整備
 - 家庭・学校・地域が連携した育児・子育て支援
- 未来につづく福祉社会**
 - 医療体制・介護体制の充実
 - 結婚から出産・子育てへの切れ目ない支援の充実
 - 子供の貧困問題対策



無所属
LINE Facebook Twitter Instagram

誠意!・情熱!・行動!

氏原ひでき

51歳

市議2期8年の経験 働く者・生活者の目線で

【略歴】 ●学歴：恩田小学校・常盤中学校・宇部工業高等学校(電気科)卒業
●地域関係：恩田地域づくり協議会会長専任理事、山口県少年相談員 ほか
●教育関係：恩田小PTA会長、常盤中PTA副会長、宇部高校PTA理事 ほか

若さと行動力で、宇部に活力を!

- 笑顔で暮らせる安心のまちづくり!
 - ◆ 県民の生活を守る「物価高騰対策」や「コロナ対策」
 - ◆ 買い物不便地域の解消!
- 子ども達がスクスク育つまちづくり!
 - ◆ 子どもの貧困やヤングケアラー、不登校などの課題解決!
 - ◆ 子ども医療費無償化を高校生まで拡充!
- 産業力の強化で活気あるまちづくり!
 - ◆ スタートアップ企業を支援し、サテライトオフィスの促進を図る!
 - ◆ 宇部市北部や郊外など、中山間地域の振興!

「なんでもなおのすくやるなおの」なおの克の実績

- 全国トップレベルのコロナ病床の確保、ワクチン接種の促進
- 燃料費高騰に対する補助事業や給食費の値上がり抑制策を実行
- 市議会とのネットワークで、子ども医療費を中学3年生まで無償化
- PC やタブレット端末を配布し、教育のデジタル化を推進

プロフィール	議会での主な役務
<ul style="list-style-type: none"> ● 昭和48年 誕生、宇部市常盤台チツソ社宅 ● 昭和55年 恩田幼稚園卒 ● 昭和61年 宇部市西岐波小学校卒業 ● 平成元年 宇部市西岐波中学校卒業 ● 平成4年 山口県私立香川高等学校卒業 ● 平成9年 創価大学法学部卒業後、IT企業に就職(14年間(海外留学1年)) ● 平成23年 東京国分寺市議会議員初当選 ● 平成29年 同市議会運営委員長(史上最年少) ● 平成31年 山口県議会議員初当選 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土木建築委員会 ● 環境福祉委員会 ● デジタル社会実現特別委員会(副委員長)
地域等での主な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ● 恩田小学校・前PTA会長 ● 宇部市PTA連合会・前総務委員長 ● 青年会議所OB等 	



公明党

公明党公認

なおの克 すぐる

誰ひとり取り残さない山口へ 岸田政権 県政を変えよう

県庁ぐるみの公選法違反、センチュリー購入など、県政が歪んでいるのは、自民党など与党が多すぎるからです。私は、大軍拡・大增税でくらしと平和をこわす岸田政権いいなりの県政を許さず、誰ひとり取り残さない山口県をめざします。

県政がすすめてきたこと	共産党の態度
2090万円 センチュリー購入一裁判で「違法」と断罪	「控訴するな」と申入れ
30年以上前から 自民党応援の県庁ぐるみ選挙	全容解明を要求
安倍元首相 「県民葬」に5329万円	支出削減の動議提出

県予算7940億円+基金300億円は「県民福祉の増進」(第11案の2)に

市と連携して 子育て支援3つのゼロ

小中学生の給食費ゼロ 約25億円	子ども医療費高卒までゼロ あと約16億円	国保料均等割18歳までゼロ あと約1.9億円
---------------------	-------------------------	---------------------------

- 高齢者に安心**
 - 介護保険の負担軽減
 - 年金でも入れる特養ホーム
 - 補聴器購入に補助制度
 - 移動のための公共交通の充実
- 命・権利をまもる**
 - 病床削減計画の中止
 - 医療・保健所の体制強化
 - ケア労働者の待遇改善
 - ジェンダー平等の推進
- 地域をまもる**
 - 宇部西高校の存続に全力
 - 農産物の価格保障と所得補償で自給率向上
 - 上関原発の中止
 - 省エネ、再エネで気候危機を打開

岸田自公政権の大軍拡・大增税ストップ 平和とくらしを守る県政に

●事務所/宇部市錦町8-6 ☎0836-36-7888



反戦平和を叫びつづめて100年
日本共産党

藤本かずのり

魅力あるまちづくりを!



自民党公認候補

高井 ともこ

山口県版ニューボラ推進

プレママから就学前のお子さんを持つお母さんにスポットを当てたサポートの取り組みを進めることで、若い世代が住みやすいまちづくりを目指します。

営農意欲の向上

農林水産省、環境省、総務省が関わり、鳥獣被害の防止に向けて取り組みを強化しています。国や市町と連携を取りながら、素早い対応のできる仕組みを進めています。

宇部に道の駅を!

宇部市には、まだ一つもない道の駅、事故防止、6次化推進の面から、道の駅の必要性を感じています。実現に向けてねばり強く働きかけます。

環境に配慮したごみ処理施設

「トンネルコンポスト形式」の燃やさないごみ処理施設を推進し、環境にやさしいまちづくりを目指します。

その他の取り組み

- 保育料軽減に向けた取り組み
- 子ども達の体力増進に向けた取り組み
- 防災強化に向けた取り組み
- 次世代技術に関連する産業の創出



など、広い分野に対して関わっていきたく考えています。

三世代が 住み良い山口県づくり



自由民主党

二木 けんじ

行動指針

- 1** コロナ禍で傷んだ経済を再生し、デジタル社会を推進します。
政策 飲食業・観光業支援、農林水産・商工業支援、企業誘致・起業支援他
- 2** 災害や犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進します。
政策 感染症対策、救急医療の充実、洪水・高潮対策、防犯・防災組織の充実他
- 3** 思いやりの心で健やかでうらおいのある医療・福祉・健康を推進します。
政策 医療体制の充実、介護支援、健康寿命の延伸、スポーツ・文化の振興他
- 4** 心豊かで才能豊かな子どもたちを育む子育てや教育を推進します。
政策 結婚・出産・子育て支援、保育・幼児教育の充実、ふるさと教育、DX人材育成他
- 5** 行財政改革を進め、経済的で効率的な行政運営を推進します。
政策 DXによる経費削減、県債残高の削減、広域行政の推進、議員定数の削減他

「まち・ひと・しごと」の創生で、「三世代が住み良い山口県」へ

PROFILE

二木 けんじ
FUTATSUGI KENJI

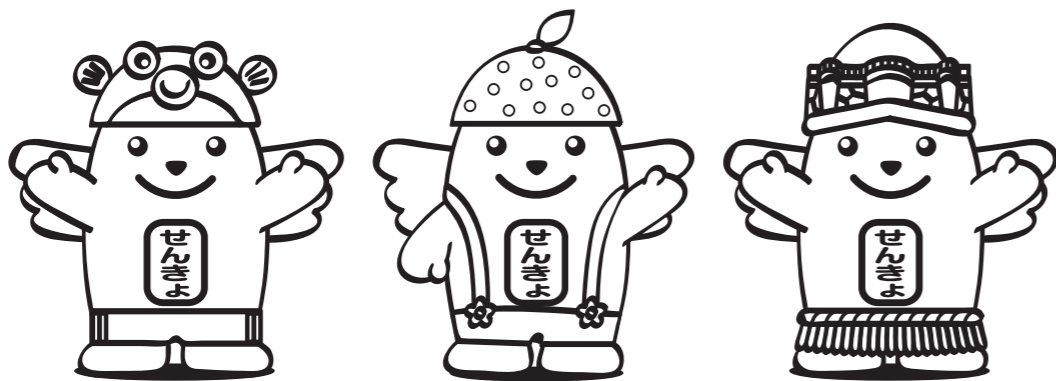
■1955年9月20日 宇部市大字東須恵黒石生まれ
■青山学院大学法学部卒業後大手ゼネコンに入社
山口県議会議員(4期)・第69代山口県議会副議長



ホームページ <https://k-futatsugi.com>

山口県議会 議員一般選挙

4月9日(日)



ご当地めいすいくん めいすいくんスマイル隊

山口県議会議員一般選挙特設サイト
<https://yamaguchi-kengikai2023.net> 携帯サイトはこちらから▶



山口県選挙管理委員会

県民の皆様とともに考え 実現したいこと

- ☆ いじめも不登校もなく、すくすく育つ教育制度
- ☆ 若い人たちが、安心してこともを生き、育てられる支援制度
- ☆ 働く人たちが、安心して働き続けられる雇用政策
- ☆ 高齢者が安心して暮らせる、医療・年金などの福祉の充実
- ☆ 障がい者の皆さんが生き生きと暮らせる共生社会を
- ☆ 地域の日常生活を支える商店街の活性化
- ☆ 農林水産従事者の経営基盤の確立と、後継者の育成
- ☆ 県民の方と対話ができる県政に
- ☆ 米軍岩国基地の縮小撤去
- ☆ 上関原発建設に反対

県民一人ひとりが県政の主人公 誰もが安心して暮らせる山口県を



宮本 てるお